

# 5. ブラジルへの協力

## ブラジル地域警察活動プロジェクト

ブラジルに対しては、これまで、短期専門家の派遣やブラジルの警察関係者の日本での研修受入れを行い、交番制度に関する技術協力を行ってきました。サンパウロ州では、州内の治安状況改善のため、交番制度の導入、運用を図っており、これまでに州内で約270か所の交番・駐在所が設置されました。平成17年からは、サンパウロ州軍警察において「ブラジル地域警察活動プロジェクト」を開始しました。3年間にわたり、長期専門家を派遣し、ブラジルからの研修員の受入れなどの協力を行います。現在8交番をモデル交番に指定し、地域住民との共同活動の実施、交番からの情報発信の促進、巡回連絡活動等を通じ地域住民との結びつきを強化し、地域の治安安定化に貢献しています。



石井孝専門家の活動状況（セミナー等）

### 専門家の声

ブラジル地域警察活動プロジェクト専門家 神奈川県警視 石井 孝  
サンパウロ州軍警察では、州内の治安状況の改善のため、地域警察活動の一環として交番制度の導入、運用を図っており、これまでに州内では268ヶ所以上の交番・駐在所が設置され、地域住民との結びつきを強化しつつ、犯罪の予防活動を行っています。この交番制度の強化、発展のため日本警察の技術協力を要請し、2005年1月から長期専門家1名が派遣され、プロジェクトが開始されました。現在8交番をモデル交番に指定し、プロジェクトを推進しており、これまでに地域住民との共同活動の実施、交番からの情報発信の促進、巡回連絡活動等を通じ地域住民との結びつきが強化され、地域の治安安定化に貢献しています。今回、プロジェクトの後半1年半を担当するため、9月15日に当地に着任し、暖かく迎えられ活動を始めたところです。州軍警察幹部は、責任感があり、本プロジェクトの成功に意欲を見せていることから、私自身の責任も重大であると認識しています。彼らの期待に応えるためにも、後半の活動では、現在行われている中間評価の結果を基に、サンパウロ州軍警察のオーナーシップを更に促し、自主発展していくための、幹部教養、勤務員教養、セミナー開催等を積極的に推進し、地域警察活動の必要性、重要性を浸透させると共に、継続的にプロジェクトが発展するための施策、将来の拡大計画の作成、マニュアルの開発、その実践、人材育成等の面で貢献しプロジェクト目標を達成したいと考えています。

## 国際警察センターの活動

国際警察センターの前身である国際捜査研修所は、警察職員又は外国からの研修員に対し、国際犯罪捜査、国際捜査共助その他の国際的な警察活動に関する研修を行い、併せてこれに必要な調査研究を行うことを目的に、昭和60年4月に設置されました。日本警察の有する警察運営、交番制度、捜査手法、犯罪鑑識等の技術やノウハウに対しては諸外国から技術協力が求められており、各分野においてJICAとの共催により外国からの研修員を対象とした各種のセミナーを実施してきました。平成18年4月には、名称を国際警察センターに改め、より積極的に国際協力に取り組んでいます。

平成18年度中には、次のようなセミナーを開催しています。

- 国際捜査セミナーⅡ
- 上級警察幹部セミナー
- インドネシア警察行政セミナー
- 東アフリカ警察行政セミナー

### 国際警察センターにおける外国からの研修員の受入状況

年度	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
人数	22	16	18	14	17
国(地域)数	46	58	52	39	63

(注) JICAと共催したもののみ。